

原木需給情報システム開発事業関連海外情報

No.16, 26 August 2013



1. 台湾の今年第1四半期における建築物所有権移転登記急増

2013年第1四半期における台湾の建築物所有権移転登記は、11万4,255棟にのぼり、前年同期と比べて20.1%増加している。

移転原因をみると、売買登記は69.5%を占める7万9,392棟で最も多く、前年同期比24.2%増加。贈与登記は1万5,363棟で13.4%を占める。相続登記は1万139棟で8.9%を占める。

売買登記の7万9,392棟の合計面積は966万 m^2 に達しており、前年同期比30.6%増加している。近年、建物売買は2009年下半期から緩やかに回復しつつあるが、投機的な住宅取引を抑制するために2011年6月より実施した「贅沢税」の影響を受け、一度萎縮していた。さらに、2012年8月1日から取引実際価格登記制度の実施により、不当な住宅価格取引への心配が和らげることで、贅沢税の効果（住宅保有が1年以下である場合は、移転時、別に贅沢税を15%納付しなければならない、1年以上2年以下である場合は、別に贅沢税を10%納付しなければならない）が住宅価格の上昇への期待で、ある程度相殺されることを受け、今年第1四半期の不動産取引の回復につながった。

建築物所有権移転登記の急増に伴う内装向け木材建材や家具の需要増加の好影響を受けて、合板、ブロックボード、パーティクルボード、繊維板の供給量は増加傾向をたどっている。

2. 台湾の今年上半期の主要木材製品輸入実績

台湾の今年上半期における主要木材製品の輸入量は、前年同期と比べて増加している。その主な原因は次のとおり。

- ・ 昨年第4四半期後半から、住宅を含む建築物取引は顕著に回復したため、内装用ブロックボード、家具用パーティクルボード、繊維板等材料の需要が増加。
- ・ 今年第1四半期、第2四半期における台湾の対外貿易の伸びが鈍化したものの、依然として小幅に伸びているため、パレット、包装材の使用に供する製材等の輸入量は、毎月ほぼ10万m³の水準を維持している。

台湾の今年上半期の主要木材製品輸入量 (m³)

区分	2013年6月	2012年6月	2013年1~6月	2012年1~6月
原木	52,254	53,140	357,793	327,520
製材品	99,866	97,625	602,360	601,680
合板	55,039	46,994	335,002	302,778
ブロックボード	988	275	5,788	3,785
単板	19,356	13,965	132,938	108,934
ランバーコア	24,001	23,667	186,342	152,868
パーティクルボード	26,267	20,442	132,950	125,704
繊維板	14,131	13,050	77,087	74,040

(海外レポートに基づき抜粋・編集)